

ごんた坂

第30号

光陵高校同窓会会報

〈発行所〉 神奈川県立光陵高等学校光陵会

〈印刷所〉 SALAT 株式会社 サラト



©大塚あゆみ



素敵なお縁に感謝

会長 太田 秀和（2期）

半世紀以上前に光陵の生徒になったのは、いろいろなご縁をいただいた結果だと思いますが、光陵を卒業した後も多くのご縁、出会いがあり、楽しい思い出がたくさんあります（幸せなことに悪い思い出は消えているか、良い思い出に転換されているのです）。

先日お亡くなりになったフジテレビ「とくダネ！」メインキャスターの小倉智昭さんとのご縁も良い思い出です。2007年に西武ライオンズ球団の栄養費（入団前のアマチュア選手に渡していた金銭）の問題で、当時球団社長だった私は社会的な大バッシングを受けました。テレビのモーニングショーはその先端でしたが、その時「とくダネ！」のメインキャスターの小倉さんは、「太田社長が起こした事件ではなく、就任前のでき事だ。彼は球団社長として一生懸命

働いている好人物だよ。僕もお会いしたことがあるけれど明るくて素敵なお人柄の人なんだよ」と唯一発信してくださった方でした。これがご縁で、球場でお会いした時、言葉を交わすようになったのです。

加齢が原因かもしれませんが、消えてしまった過去のでき事も多いでしょう。私との記憶を共有していると思われる方からは、「消えてしまった過去を返してください」とお叱りを受けるかもしれません。でも、私は楽観的な性格ですので、過去は変わらないけれど、今、そして未来は、これから作りあげることができる。だから、将来に向かって楽しい思い出をたくさん作っていこうと毎日を過ごしています。

光陵会の活動を通して、事務局のボランティアメンバーはじめ若い光陵卒業生とのたくさんのご縁をいただいています。皆さんと接していると光陵の未来は明るい、日本の未来も明るい、と心から思えるのです。これからもよろしく願いいたします。



変化を受け入れて

事務局長 野本 優菜（55期）

今年1月、「20歳の市民を祝う集い」に参加し、社会の一員としての自覚を新たに、改めて将来の進路に向けて邁進する決意をいたしました。私の人生の目標は、光陵が掲げる「次代を担う心やさしき社会のリーダー」像に沿い、探求心や向上心を持ち続けながら、社会や誰かのためにできることを模索し、実践していくことです。光陵で学んだ精神を胸に、今後も成長していきたいと考えております。

さて、光陵高校や光陵会にも、多くの変化が訪れています。校舎や体育館の耐震工事が完了し、制限のあった行事も元の姿を取り戻しつつあります。さらに、生徒会の活躍により制服規則が改革されるなど、生徒自身が新たな光陵を形作っている様子も感じられます。57期の卒業式では、長く受け継がれていた「ちょっと待った」の掛け声がなくなり、代わりに保護者への感謝を込めた合唱が行われました。見慣れた光景が変わっていくことに寂しさを感じつつも、新

しい光陵の姿に期待が膨らみます。

光陵高校は60周年を目前に控え、これまで幾度となく変化を遂げてきました。その中で、「変わったこと」と「変わらないこと」があります。時代とともに形を変えていくものもあれば、受け継がれる想いもあります。環境が変わっても、光陵生の挑戦する姿勢や仲間を大切にすることは、これからも変わることはないでしょう。そのような光陵の精神があるからこそ、変化を前向きに受け止め、新たな歴史を築いていけるのだと感じています。

コロナ禍の影響が和らぎ、光陵会の活動も新たな形を模索しながら進んでいます。今年度は念願だった総会の高校開催が決定し、活動の幅が広がることに大きな喜びを感じています。発展のための変化を恐れず、光陵会の理念を大切にしながら、より良い形を模索していきたいと考えています。光陵会が今後も光陵の輪を繋ぐ存在として、現役光陵生にとってより身近なものとなることを願っています。

最後になりましたが、会報の発行にあたりご尽力いただいたみなさまに、心より感謝申し上げます。

OBインタビュー



今の最適は何か？

“やってみよう”から始める、未来への挑戦

自分のやりたいことを実現させるため、挑戦を行っている光陵生がいます。JR東日本、ボストンコンサルティンググループ、三井物産、VISAと転職によって様々な業界を経験してきた高橋修平さん（39期）に転職や仕事、大切にしている考え方について伺いました。

1. 色々なことに挑戦していくにあたって方針はどのように決めていかれたのでしょうか？

これまでは自分のやりたいことを実現するために、その時々で最適と考えた道に進むようにしていました。新卒でJR東日本に入社した時は、日本の技術で海外の鉄道を良くしたいという思いを持っていました。しかし、実際にその業界で働いてみると、就活の段階では見えてこなかった道が見えるようになってきます。そこから転職をして、三井物産ではJR西日本と一緒に、ブラジルの鉄道会社の経営改善に取り組んでいました。子供が産まれてからは、家族と過ごす時間が十分に取れることを第一優先に考えています。

2. 転職することについてリスクを感じてしまうのですが、転職活動に対してハードルは高く感じなかったのでしょうか？

最初にJR東日本から転職するときは確かに不安でした。「安定した会社から転職するのはもったいない」と周囲からも言われ悩みましたが、当時ボストンコンサルティンググループが、インドネシア政府に対して高速鉄道導入に関する支援をしているという記事を見て、自分のやりたいことに近づけるのではと考え転職を決断しました。結果的には、この時転職を決断したことは自分にとって良かったと思っています。転職は確かにリスクもありますが、改めて考えてみると転職しないことのリスクも実は大きいと考えています。その理由はいくつかありますが、一つは同じ会社にずっといると、転職したいと思った時に選択肢が限られることがあるためです。長く同じ会社にいると、その会社で生きるスキルは鍛えられますが、外部から見て有用なスキルを身に付けていることは、年齢を重ねるごとに難しくなると思っています。そんな中で、例えば職場の人間関係に苦労していたとしても、その会社から出ることもできずストレスが溜まってしまうケースも存在します。また、金銭面においても、会社の業績が傾いた時に給料が減ってしまうこともありますね。このように、同じ会社に残ったとしてもリスクは存在するし、転職してうまくいかないリスクも存在するので、色々と考えて自分が良いと思う決断をすることが大事だと思います。

3. いろいろなお仕事に取り組んでいる中でやりがいを感じた仕事や印象的な仕事はありましたか？

仕事の規模によらず、仕事が終わった後に一緒に働いた人と「やり切りましたね」と話をする時が一番やりがいを感じます。「何をやったか」、という仕事内容よりも“誰とどうやったか”みたいな所が結構やりがいを感じる部分であって、改めて考えると、人との関係性が一番大事な気がします。

4. 高校時代にも皆で取り組む学校行事があったと思いますが、光陵生だったときからそのような考え方は持っていたのでしょうか？

そうですね。光陵生の時は学校行事に積極的に取り組んでいたのですが、今と同じで勝ち負けといった結果にはあまり興味が無かったです。「終わった後に皆でやって良かったと言えたら良いな」という考えを持っていました。ただ、それを当時のクラスメイトには上手く伝えられず反省したことを覚えています。2年生の学音祭は確か準優勝で、惜しくも優勝できなかったのですが、指揮者をやっていた手前申し訳なさもあり悔しがっていました。でも本心は悔しくなく、むしろ皆が練習にも積極的に参加してくれて良かったなと思っていました。私が悔しがっていたことで周りも終わったことを喜ばなかったと思うので、素直に「皆でやれて楽しかったね!」と言えたら良かったなぁと後悔したことを今も覚えています。

5. 自分でも見習いたい素敵な考え方だと思います。他にも普段から意識している考え方などはありますか？

偉そうなおじさんにはならない!ということを意識しています(笑)そのために自分の中で3つルールがあって、

- 1) エレベーターに乗った時はボタンの前に立つ
 - 2) 自分のやり方は正しくないかも?という考えで人のやり方を真似する
 - 3) 過去の成功は話さない/賞状は飾らない
- を実践するようにしています。例えばエレベーターで一番後ろでふんぞり返っていたらカッコ悪いと思うので、一番前に立ちボタンを押すようにしています。また、仕事や普段の生活で、「自分のやり方はこうだ」と固執してしまうと、周りからすると厄介な人になってしまう気がしています。「自分のやり方は間違っているかも」という考えで、良いやり方は素直に真似しようと考えています。あとはそうですね、失敗経験は積極的に話すものの、過去の成功は自分からは話さず、もらった賞状も見えるところ

ろには置かないようにしています。家族にも、賞状を飾るようになったら止めてねと伝えています(笑)

6. 進学や就職活動をする中で仕事をする意味を考えることがあるのですが、高橋さんにとってお仕事とはどういったものだと考えていますか？

人を知る手段と考えている気がしますね。仕事は、やりがいを持ってやっている人、生活のためにやっている人、と動機は様々ですが、少なくとも人生の多くの時間を仕事に向けていると思います。仕事を通じて人と関わっていくと、その人のことがよく分かるようになってくるので、それが面白いと感じます。例えば、最初は全然知らなかった人と一緒に何か仕事をしていくことによって、その人の好きなものとか家族とか、これまでに歩んできた道とかを知れて、お互いに尊敬しあえる関係性ができてくるのが面白いと感じています。仮に宝くじが当たって、いっぱいお金があったとしても働きはすると思います。

7. 何か新しい目標などは考えていますか？次はどのようなことやっていきたいと考えているのかお聞きしたいです。

仕事を通じて法律に興味を持ち、4月からは思い切って大学院に通う予定です。勉強してみて面白と感じたら、弁護士の資格も取得したいです。中小企業診断士という資格も持っているので、将来的には中小企業の経営者の方と向き合い、経営改善を支援するようなことができれば面白いと考えています。40代以降にまずは副業として始めてみたいと思っています。

8. 働きながら勉強するのは大変だと思うのですが、それに挑戦しようと思うのはすごいですね。

大変な部分はあると思っています。でも、やってみて家族との時間が取れなくなったりしたらペースを落とせばいいし、やってみたって思えるなら続けられればいいかなと思っています。まずやってみるのが大事だと思っていて、あまり深く考えずに法科大学院も受けてみました。「あの時やっておけばよかった」と思うことって、もう取り返しがつかないですが、何かやって失敗しても「やって良かった」と思えばいいのかなって気がします。

9. お話を聞かせていただきありがとうございます。最後にこの記事を読んでいる方にアドバイスをいただけますでしょうか。

何かやりたいことや興味を持っていることがあれば、それを大事にしてみるのとは凄く大切なことだと思います。「漫画・ゲームが好きです」とか、「スポーツが好きです」とか、「何かを実現したいです」とか、なんでもいいと思うのですが、自分が好きだったりやりたいことがあるのは、自分が楽しいことはもちろん、周りからも魅力的に映ると思います。「これが好きなんです」とか、「こういうことをしていると楽しいんですよ」みたいなものがあると、話していて面白い人だなと思われるでしょう。それが結果的に今後の就活とか、仕事とかにもつながるのだと思いますね。仕事、趣味、家族なんでも良いと思いますが、何かを大事にしている人は魅力的だと思います。



左上：39期 高橋修平さん 右上：52期 牧野暖登 左下：54期 福丸颯太 右下：56期 久保田充喜

**インタビュー
編集後記**

自分のやりたいことや夢を軸にキャリアを築いていく生き方に、改めて刺激を受けました。学生時代は将来の方向性が定まらないこともあります。卒業後にさまざまな経験を積む中で、自分なりの道を見つけていくものだと感じます。今回のインタビューを通じて、光陵生がどのように未来を切り拓いているのかを知ることができ、同じ卒業生として誇らしく思いました。今後もそれぞれの道で活躍する仲間が増えていくのが楽しみです。

ありがとう30号！ お便り返信コーナー



おかげさまで光陵会会報は30周年を迎えることができました！これも毎年お読みいただいている同窓生の皆さまのおかげです！これまでの感謝を込めて今回の特集記事では会報へのお便りに答えてまいります。

- ・光陵での友人とはいまだに連絡を取り合っています。有りがたい友達です。(15期 女性)

事務局より

→光陵で出会った友達と、何十年も連絡を取り合い続けられる関係を築けるのは、本当に素敵なことですね。卒業して立場や環境が変わっても仲良くできる友達が光陵でできるというのは、この学校の魅力のひとつだと思います。

- ・実家に帰り、久々に体育祭のビデオを見た。応援団の系乱れぬ動きに感動！久々に見に行きたいなー。(39期 女性)
- ・会社に入社したときにも息子さんの奥さんが光陵卒という上司から「光陵にはそういう伝統があるんでしょ？」と聞かれました。卒業して早30年以上、そんな伝統が今はどうなってるのか、気になったりします。

事務局より

→私は55期で入学した年はコロナで体育祭がありませんでしたが応援団の発表は行われて伝統を引き継ぎました。現役時代はなんで応援団だけやるのかと思っていましたが、組の拍子は卒業後もできるぐらい身体に染み付いています。

- ・今でも光陵の校歌は歌えます。あの混合四部合唱はメロディー、歌詞ともに日本一と思っています。(15期 女性)
- ・2019年に青春かながわ校歌祭の練習で、本当に久しぶりに校歌を歌いました。コロナ禍になり、皆で集まり大声で歌えることの幸せを改めて感じています。(15期)

事務局より

→時が経っても心に深く残り続ける、本当に素晴らしいメロディーだと思います。校歌祭が再開したので、ぜひ校歌祭と一緒に歌いましょう。再び響き渡る歌声を楽しみにしています！

- ・お正月の箱根駅伝で権太坂通過と聞く度に楽しかった青春時代の光陵を懐かしく思い出し胸が熱くなります！40年たってもかけがえのない母校、訪れてみたいです！(8期 女性)
- ・毎年の箱根駅伝の中継が母校周辺状況の情報源。いつもダッシュしていた通学路をゆっくりと歩きたいです。(12期)

事務局より

→箱根駅伝の2区は、光陵高校の生徒たちが普段通学で使う道でもありますよね。いつも使っていた通学路が駅伝ランナーの夢の舞台となっていると考えたらなんだか誇らしいです。もしかすると「光陵生にとっての華の2区」と言えるのかもしれませんね。

- ・地元を離れ、なかなか高校にも行くチャンスが無いので『ごんた坂』で年に一度高校時代を思い出しています。(17期 女性)
- ・会報を楽しく拝読しています。光陵生時代を懐かしく思い出し、タイムスリップした気分です。(33期 女性)

事務局より

→会報を楽しみにしていただいております。一年に一度発刊の会報『ごんた坂』が、高校時代を思い出すす

がなっていることを嬉しく思います。これからも、光陵高校の“今”や卒業生の活躍の様子など、みなさん楽しんでいただける会報を作っていけるよう精進いたします。

- ・直接お目にかかれないのは残念ではありますが、リモートということで逆に海外からも参加させていただけるのはうれしいことです。(18期)
- ・横だけでなく「縦」にOB・OG・現役世代を絡んでいただけるような企画を望んでいます。(28期 男性)

事務局より

→2023年度および2024年度の総会・懇親会は、対面とオンラインの併用開催でした。その結果、県外や海外で活躍されている方にも参加していただきました。様々な世代の卒業生が一堂に会する総会・懇親会では、「縦」のつながりを結ぶことができるかと思われます。今後もたくさんのご参加をお待ちしております。

- ・“ごんたん”グッズ是非実現してください!! (10期 男性)

事務局より

→“ごんたん”グッズを作りたいという話題は、事務局内でもよく挙がっております。実現に向けて動き出したい所存です。グッズ化の実現を共に楽しみに待ちましょう。

- ・仕事でオーストラリアに行った時、宿泊したホテルで光陵の卒業生が働いていて、光陵の話で盛り上がりました。(10期 高島崇さん)
- ・この4月、職場に配属された新入社員は光陵OGでした。同じ担当になり、先輩と後輩の間柄で仕事しています。なんだか不思議。(31期 女性)
- ・街中で光陵の制服を見かけると応援したくなります。(21期 女性)

事務局より

→やはり、私たちのルーツは光陵高校なのですね。光陵生という繋がりが、素敵な方たちと縁を結んでくれている気がします。私も先日46期上の方とお会いし、まさかの出会いに驚きました。ふとした瞬間に今の私たちもあの3年間の日々の延長にいるのだと思います。

- ・今の生徒さんの時間割に興味があります。私の頃は理系なのに3年生で日本史週5。つらかった、。(31期)
- ・進路をみると、長崎大学がないのですね。長崎大学の卒業生は横浜市の職員として就職している人も多いんですよ。(22期 女性)

事務局より

→令和6年度は、3年生で地理・歴史か物理・化学・生物かを選択するようです。1、2年次では文理に分かれないカリキュラムは変わらないですね。令和3～5年度まで、佐賀大や宮崎大に進学した方はいますが長崎大に進学した方はおらず、

編集後記

最後までお読みいただきありがとうございます。1枚の紙から始まった会報も、今では冊子として皆さまのお手元にお届けできるようになりました。記事執筆にあたり、過去の「卒業生からのお便り」に全て目を通しました。読者の皆さまとの繋がりを感じ、嬉しく思いました。今後も学生スタッフにより、光陵高校の「今」と「懐かしさ」をお届けできるコンテンツをお届けして参ります。ご愛読に加え、卒業生からのお便りや会報協力金などいただけますと大変励みになります。これからも光陵会と会報「ごんた坂」をよろしくお願いいたします！

卒業生からの便り



- 制服の記事を興味深く拝見しました。自分たちの頃は意外と自由でいろいろな着こなしをしている人がいたものです。制服をリニューアルする学校も多いようですが、学生服のジャバラ、黒やグレーのスカートを見るとすぐに後輩たちとわかり、懐かしい気持ちになります。(24期)
- 制服に関する記事、興味深く拝読いたしました。大好きだった夏のグレーのスカート、紺のポロシャツとの組み合わせもよいですね。懐かしい日々を思い出し、元気が出ました。(24期)
- 事務局の皆様、お疲れ様です。高校時代の友人との交流はもうほとんどありませんが、ふとあの頃を思い出し、懐かしくなりました。(28期)
- 会報が届くと、もう卒業して20年以上も経つのに、高校時代の楽しかった思い出が胸いっぱいに広がります。みんなに会

いたいなあ…これからも光陵の最新情報が分かる会報を楽しみにしています！（33期）

- 2024年春、学部生から博士研究員まで15年間過ごした大学を出て新天地に移りました。未だ何物でもない若輩者ですが、光陵を巣って15年も経ったことになります。ここ数年は光陵祭など母校に帰る機会を悉く逃しておりますが、今でもなお“校”愁の念は卒業直後と変わらず沸々と湧き上がって参ります。そのような中で光陵の「いま」と変わらぬものに触れる手掛かりとして、ごんた坂とハイブリッド形式の光陵会総会の存在は大変有り難く感じております。今後ともよろしくお願いいたします。(41期)
- 応援歌知っています！とても素敵な歌で好きでした。吹奏楽部で校歌祭に参加した時に歌いました。また、野球応援のときの進塁が得点が入った時かどちらかで最後のフレーズを演奏していました。知らないうちに耳にしている人もいるのでは？！（46期）

ご意見募集のお知らせ

光陵会では会員の皆様のご意見・ご感想を、総会懇親会出欠登録用のWebフォーム内で募集しております。光陵高校で過ごした思い出や会報を読んで思い出されたことなど、ぜひお聞かせください。来年度の『ごんた坂』で一部をご紹介しますいただきます。

会報発行協力金のお願い

会報発行協力金にご協力いただき、誠にありがとうございます。本会報の発行は2009年から名簿委託業者である㈱サトとの共同事業の契約とし、会報発行費用は最大負担額を定めた独立採算制となっております。会員の皆様には、会報発行費用について賛助協力金として1口3,000円をお願いしております。本年度もコンビニエンスストアで決済可能な振込用紙を、失礼を承知の上で同封させていただきます。

PayPayなどのスマホ決済も可能になっております。

光陵会事務局は今後も存続し、母校への発展寄与のため力を尽くしてまいりたいと一同強く願っております。何卒、皆様のご理解

とご協力をお願いいたします。また、従来からお願いをさせていただいております光陵会への直接の賛助金も受け付けておりますが、これを機会にぜひ会報発行協力金にご賛同いただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

※ 会報発行協力金は発行費用(約200万円)を上回ります賛助協力金をいただいた場合、上回った分の8割が光陵会への賛助となる仕組みです。

※ 同封の振込用紙は、郵便振込を利用されますと金額の訂正が可能となります。コンビニエンスストアやPayPayなどを利用される場合は一律3,000円となりますのでご注意ください。

青春かながわ校歌祭のお知らせ

開催案内

日時：2025年10月18日(土)
会場：やまと芸術文化ホール
(小田急線・相鉄線 大和駅徒歩4分)
主催：かながわ校歌振興会
共催：神奈川県教育委員会

今年も光陵会は青春かながわ校歌祭への参加を予定しております。第20回に向けた練習日の予定や参加費（楽譜印刷代など、昨年は500円）など、詳細はホームページ等でお知らせします。歌が好きの方、校歌を久しぶりに歌いたい方、期を超えた交流を楽しみましょう。本番当日のみの参加も歓迎しています。

お問い合わせは光陵会スタッフ（staff@koryokai.jp）まで。



その経験、先輩として語りませんか?

キャリアガイダンス講師募集のお知らせ

光陵高校では毎年3月に、1・2年生を対象にした特別講座「キャリアガイダンス」を実施しています。現役生がさまざまな分野で活躍する卒業生から、進路選択の過程や職業経験などを聞く場を設け、将来のキャリア形成に役立ててもらう取り組みで、初開催から今年で20年となりました。現役生が今後の将来を考えるきっかけになるとともに、光陵の先輩とのつながりを感じられる貴重な機会となっています。

2024年度は、3月8日(土)に対面とオンライン形式の併用で開催。4～44期の卒業生約20名にご協力いただき、弁護士や看護師、広告や教育関係など幅広い業種の方々が集いました。光陵在学中の思い出や大学時代の経験、社会人の苦労などをそれぞれの言葉で語っていただき、生徒からも積極的に質問が寄せられました。また、講師の皆さんも異業種交流を通じ光陵の絆を再確認する場となりました。

光陵会は講師をしていただく卒業生を母校にご紹介する形で、この取り組みに協力しています。趣旨にご賛同いただき、参加にご関心のある方はぜひ「光陵会事務局」(staff@koryokai.jp)までご連絡ください。光陵会が運

営する、卒業生にご職業などの人材情報を登録いただく「光陵卒業生人材バンク」をご案内させていただきます。登録いただいた情報はキャリアガイダンスの講師紹介などに活用いたします。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



講師が在校生を前に経験を語る様子(25年3月)

寄贈事業報告

光陵会では毎年、光陵高校に寄贈を行っております。2024年度は学校側からの寄贈品の希望が無かったため、寄贈は実施いたしませんでした。今後も有意義な寄贈が行えるよう取り組んでまいりますので、会員の皆様のご意見・ご要望がございましたら、ぜひ同封のハガキでお寄せいただけますと幸いです。

同窓生向けSNSのご案内

卒業後の交流の場として同窓生向けSNSが運営されています。加入希望、お問い合わせは下記へお願いいたします。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

URL: <http://www.koryo.gr.jp/sns/>

MAIL: koryo-kai-request@koryo.gr.jp

運営: 光陵会メーリングリスト (koryo.gr.jp)

母校の最新情報

【進路状況】



<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/koryo-h/shinro/shinrojoukyo.html>

【部活動実績】



<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/koryo-h/seikatsu/bukatsudou.html>

【教職員異動】



<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y4g/prs/r3085002.html>

■ 2024年度総会・懇親会報告

開催日：6月15日(土)

総会

@ビジョンセンター横浜西口

以下の議事項目がすべて承認されたことをご報告いたします。

①2023年度決算報告 ②2024年度予算案審議 ③2024年度役員及び監査承認

特別講演

潤生会岩間整形外科理事長を務める岩間徹氏(10期)に「子供の心と体の育成—大谷翔平になるために—」というテーマで、身体の使い方やプロ野球選手などへの指導法について、写真や映像を交えてお話いただきました。

📖 会員名簿の取扱いについて

光陵会では、2025年4月に皆様のご協力の下、会員名簿を発刊いたしました。光陵会では会員以外に会員名簿を配布することは一切なく、会員各位の情報が外部に漏れることのないよう、プライバシーマーク取得企業で名簿委託業者の(株)サルトとともに厳重に管理しております。皆様も名簿の取扱いには十分ご注意の上、外部への流出がないよう、ご配慮ください。

また昨今、光陵会の名を騙り、会員の皆様の勤務先への問い合わせや勧誘・物品販売などが行われているようですが、これらは光陵会とは一切関係ございません。内容を確認の上、適切にご対応くださいますようお願い申し上げます。

なお、会員名簿のご購入を希望される方は下記までお問い合わせください。光陵会事務局からお手続きの詳細の連絡をさせていただきます。事務局の定例作業等での対応となりますため、お手続きには1ヵ月程度のお時間をいただく場合がございます。期間の余裕をもってご連絡いただけますと幸いです。なお、会員名簿の販売は、原則お一人様一冊までとなります。

宛先:「光陵会事務局メールアドレス」 staff@koryokai.jp

会計報告

2024年度決算

(2024/03/01~2025/02/28)

2025年度予算案

(2025/03/01~2026/02/28)

(収入の部)

入会費・終身会費	¥2,940,000
懇親会会費	¥372,000
賛助金	¥8,000
名簿売上	¥0
その他	¥29,587
前年度繰越金	¥30,150,440
合 計	¥33,500,027

(支出の部)

通信費	¥158,484
事務費	¥13,697
運営費	¥627,814
交通費	¥44,467
懇親会費	¥577,022
H P 運用費	¥24,200
会報費	¥0
校歌祭費	¥50,000
光陵祭費	¥117,603
高校寄付費	¥0
設備予備費	¥204,670
合 計	¥1,817,957
収支差額	¥31,682,070

(参考)

前年度繰越金を除く収入	¥3,349,587
支出計	¥1,817,957
差引(今年度純増減額)	¥1,531,630

(収入の部)

入会費・終身会費	¥3,040,000
懇親会会費	¥400,000
前年度繰越金	¥31,682,070
合 計	¥35,122,070

(支出の部)

通信費	¥300,000
事務費	¥60,000
運営費	¥630,000
交通費	¥120,000
懇親会費	¥550,000
H P 運用費	¥50,000
会報費	¥629,244 ※2
校歌祭費	¥100,000
光陵祭費	¥120,000
高校寄付費	¥400,000
設備予備費	¥240,000
合 計	¥3,199,244
収支差額	¥31,922,826

前線を除く収入	¥3,440,000
支出計	¥3,199,244
差引(純増減額)	¥240,756

※1 上記は2025/3/22開催の幹事会で承認された内容ですが、監査上の確認事項があり、上記の決算・予算案は修正される見込みです。

※2 会報費は2024年度の精算(¥99,244)が決算後となったため、2025年度予算にその分を上乗せしています。

懇親会

@横浜イース7階 プルメリアカフェ

昨年に引き続き対面での懇親会を実施いたしました。

今年も対面での開催に向けて事務局にて準備を進めてまいります。

～ 賛助金への御礼 ～

2024年度は4名の方から計8,000円のご支援を賜りました。

皆さまの温かいお心遣いに深く感謝いたします。

引き続き充実した同窓会運営に努めてまいりますので、今後ともご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

2024年度光陵会役員・監査・事務局

会 長	太田 秀和 (2期)	
副 会 長	大道 正夫 (4期)	山本 勉 (4期)
	茅野 憲 (7期)	中濱こずえ (9期)
	荒木 宏之 (19期)	藤原 直人 (31期)
理 事	安保 久 (17期)	虻川 真紀 (25期)
	増田 祐徳 (36期)	金子 周平 (38期)
	佐藤 楓 (42期)	藤居 悠人 (43期)
	山本 航介 (43期)	佐藤 菖 (44期)
	加藤 圭祐 (49期)	
会 計	菊名 直人 (42期)	寺田 祐晟 (52期)
	于 棋棋 (52期)	成瀬 佑 (54期)
	笠間 結斗 (55期)	田中 愛実 (56期)
	榎田 空 (56期)	
監 査	上原 武 (25期)	高橋 芳昌 (33期)
	柘植 貴之 (41期)	萬 紗帆 (46期)
	中村 風沙 (49期)	
事務局長	野本 優菜 (55期)	
副 局 長	高橋 歩希 (52期)	南 香帆 (52期)
	池田 結香 (54期)	大石 拓空 (56期)
	是澤 萌愛 (56期)	
書 記	牧野 暖登 (52期)	堀部 琴 (54期)
	清水さゆり (55期)	亀井 るな (55期)
	横山 凛久 (56期)	高橋 優玖 (56期)

2025年度光陵会役員・監査・事務局

会 長	太田 秀和 (2期)	
副 会 長	大道 正夫 (4期)	山本 勉 (4期)
	茅野 憲 (7期)	中濱こずえ (9期)
	荒木 宏之 (19期)	藤原 直人 (31期)
理 事	安保 久 (17期)	増田 祐徳 (36期)
	増田 悠子 (38期)	佐藤 楓 (42期)
	藤居 悠人 (43期)	渥美 菖 (44期)
	加藤 圭祐 (49期)	
会 計	菊名 直人 (42期)	寺田 祐晟 (52期)
	于 棋棋 (52期)	成瀬 佑 (54期)
	笠間 結斗 (55期)	田中 愛実 (56期)
	榎田 空 (56期)	芝池 颯 (57期)
	高橋 心春 (57期)	
監 査	上原 武 (25期)	金子 周平 (38期)
	萬 紗帆 (46期)	中村 風沙 (49期)
事務局長	石野 誠力 (57期)	
副 局 長	高橋 歩希 (52期)	牧野 暖登 (52期)
	南 香帆 (52期)	福丸 颯太 (54期)
	野本 優菜 (55期)	久保田充喜 (56期)
	是澤 萌愛 (56期)	井口 心晴 (57期)
	寺田 湧人 (57期)	
書 記	池田 結香 (54期)	堀部 琴 (54期)
	清水さゆり (55期)	亀井 るな (55期)
	横山 凛久 (56期)	高橋 優玖 (56期)
	川北 姫生 (57期)	齋藤 慧介 (57期)
	成田将一朗 (57期)	

2025年度 光陵会総会・ 懇親会のご案内

2025年 6月7日(土)

総会

14:00～16:00(13:30開場予定)

場所：神奈川県立光陵高等学校

(久しぶりの光陵開催です!!)

オンライン開催(Zoom使用)も併用します

会費：無料

<議事次第(予定)>

- 1 2024年度決算・監査報告
- 2 2025年度予算案審議
- 3 2025年度役員及び監査承認
- 4 事務局活動報告等
- 5 特別講演



総会特別講演 「2025年教育新事情」



たぬま みつあき
講師：田沼 光明氏

光陵高校1975年卒(7期生)
学校法人横浜学園理事長 高等学校長

経歴

- 1957年 横浜生まれ
- 1987年 慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程教育学専攻満期退学
- 1992年 慶應義塾湘南藤沢中等部教諭
- 2005年 横浜学園中学・高等学校理事長・校長、早稲田大学・国士舘大学・山脇短期大学非常勤講師を歴任
- 2009年 神奈川県高等学校体育連盟参与、神奈川県高等学校文化連盟副会長
- 2011年 神奈川県私学退職金基金財団役員理事、神奈川県公立高等学校協議会委員、神奈川県公立高等学校設置者会議委員
- 2014年 神奈川県私立学校審議会委員

- 2015年 神奈川県私立中学高等学校協会副理事長
- 2016年 日本私立中学・高等学校連合監事
- 2018年 日本私学教育研究所評議員
- 2019年 神奈川県高等学校野球連盟会長

- 表彰
- 2017年 神奈川県私立学校教育功労者
 - 2021年 神奈川県県民功労者
 - 2023年 文部科学大臣

講演の概要

2025年教育新事情

1. 教育の危機
2. 探究学習の問題点:創造的探究学習
3. 不登校の問題点:就学支援、通信制の問題
4. 教員採用の問題点:教育養成、特別教員免許状、働き方改革、ハラスメントの問題
5. グローバル教育の問題点
6. AIと教育の問題点:AIと人間のできること、AIの主體的使い方

懇親会

17:30～19:30(17:00受付開始)

場所：グレースバリ横浜関内

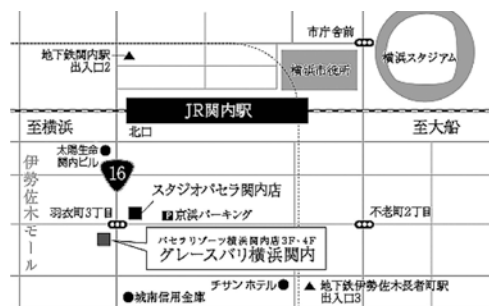
(神奈川県横浜市中区末広町3-95 パセラリゾーツ横浜関内店)

会費：一般料金 8,000円

特別料金(現旧職員) 5,000円

(学 生) 1,000円

会場アクセス JR 関内駅から徒歩3分



出欠(委任状)登録、会員情報変更のWeb利用にご協力ください

個人情報管理、経費削減、負担軽減等の観点から、**Web上での出欠(委任状)登録を原則とし、それ以外の方法をご希望の方のみ、郵便はがきでのご登録とさせていただきます。**ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<出欠(委任状)登録方法> 登録期限：5月23日(金)

Web【原則】：光陵会ホームページ (<http://koryokai.jp/>) 内の専用フォーム

郵便はがき：会報同封のはがきに記入して郵送



総会・懇親会
出欠フォーム

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。